

# フリージア新品種の産地拡大に取り組んでいます

南加賀農林総合事務所



栽培講習会



球根を冷蔵庫に入れる前の作業

J A小松市とJ A加賀では、本県が育成したフリージア新品種の産地化に取り組んでおり、取組1年目の平成23年は、10戸の農家が約1.5aで栽培しました。しかし栽培面積が小さく、販売量を十分確保することができませんでした。

このため、当事務所では、まず、栽培農家を増やすことに取り組みました。具体的には、J Aと連携して空いたビニールハウスを持っている農家をリストアップし、一戸ずつ面談してフリージア栽培を勧めました。この結果、平成24年は栽培農家が15戸に増え、栽培面積は4aに拡大しました。

しかし、フリージアを普通に栽培すると出荷期間が一時期に集中し、収穫作業が困難を極めるだけでなく、大量出荷により単価が安くなってしまい、農家の収入が下がってしまいます。このため、球根を冷蔵することで開花期を早め、出荷期間を拡大する技術を導入することにしました。初めての栽培方法にとまどう農家もいましたが、栽培講習会を開催するだけでなく、こまめな技術指導を行ってきた結果、生育は順調であり、農家は手応えを感じている様子です。なお、早いところでは平成24年11月から出荷が始まっており、翌年4月上旬まで、県内市場の他、関西市場へ出荷する見込みです。

当事務所では、今後もJ Aと連携してフリージアの産地拡大に努め、石川県が全国に誇れるフリージア産地となるよう、栽培技術の向上や有利販売に向けた取り組みを支援していくこととしています。

問い合わせ先：南加賀農林総合事務所 農業振興部  
(0761-23-1703)